

「クレート」は屋根があり三方が囲まれた構造で、持ち運びが可能なケースのことです。これを使ったしつけ（クレートの中に入っておとなしくする）をクレートトレーニング＝イラスト、別名をハウストレーニングといいます。

狭いクレートの中に閉じ込めておくなんてかわいそう、という方もいらっしゃるかもしれませんが、犬が野生で暮らしていた頃は、ほら穴のように静かで安全な場所を巣穴として休んだり睡眠をとったりしていました。その頃の本能が今でも残っているため、クレートのように狭い限られた空間は犬にとって安心できる場所と認識しやすいのです。

愛犬が安心して休める場所を

あ
ん
し
ん
！
ペ
ツ
ト
ラ
イ
フ

⑪

始めようクレートトレーニング

用意して、それを教えることは心身の疲れを取るためにとても重要なことです。

また、クレートトレーニングは、このほかたくさんのメリットがあります。

例えば、落ち着いた状態で移動できるので動物病院への通院や旅行などの際にストレスを軽減できます。車で移動中の急ブレーキや事故の際にも安全を確保できます。地震などの災害時にも避難しやすく、迷子にもなりにくくなります。お留守番中には、誤飲事故やいたずらの防止になります。

クレートトレーニング

- ① おやつを投げ入れながら「ハウス」の号令
- ② クッションなど好む素材を入れる
- ③ 扉を開け放し、自ら進んで入るように
- ④ 疲れたタイミングでおもちゃなどを入れ扉を閉める
(はじめは数秒から、だんだん長く)



お出掛けの際にもクレートでおとなしくできる犬だと行動範囲がぐんと広がります。愛犬の安心と安全を守るため、愛犬との楽しい生活のため、クレートトレーニングを始めてみてはいかがでしょうか。

(アニコム損保

獣医師 井上舞)